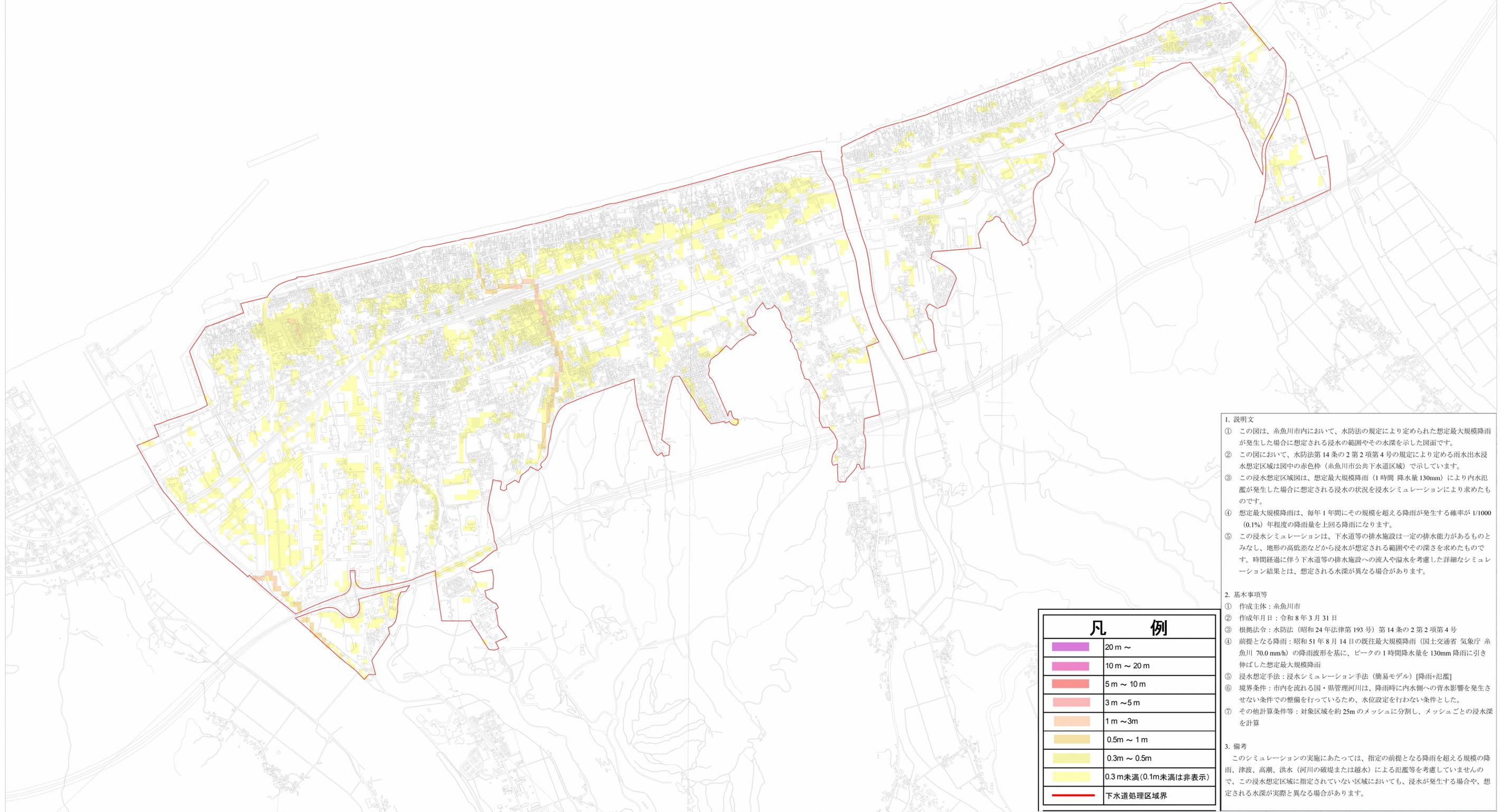


雨水出水浸水想定区域図
(想定最大規模降雨_糸魚川処理区)

N

1:11000



凡 例	
	20 m ~
	10 m ~ 20 m
	5 m ~ 10 m
	3 m ~ 5 m
	1 m ~ 3 m
	0.5 m ~ 1 m
	0.3 m ~ 0.5 m
	0.3 m未満(0.1m未満は非表示)
	下水道処理区域界

1. 説明文
- この図は、糸魚川市内において、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨が発生した場合に想定される浸水の範囲やその水深を示した図面です。
 - この図において、水防法第14条の2第2項第4号の規定により定める雨水出水浸水想定区域は図中の赤色枠（糸魚川市公共下水道区域）で示しています。
 - この浸水想定区域図は、想定最大規模降雨（1時間 降水量130mm）により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況を浸水シミュレーションにより求めたものです。
 - 想定最大規模降雨は、毎年1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/1000（0.1%）年程度の降雨量を上回る降雨になります。
 - この浸水シミュレーションは、下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものです。時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深が異なる場合があります。
2. 基本事項等
- 作成主体：糸魚川市
 - 作成年月日：令和8年3月31日
 - 根拠法令：水防法（昭和24年法律第193号）第14条の2第2項第4号
 - 前提となる降雨：昭和51年8月14日の既往最大規模降雨（国土交通省 気象庁 糸魚川 70.0 mm/h）の降雨波形を基に、ピークの1時間降水量を130mm降雨に引き伸ばした想定最大規模降雨
 - 浸水想定手法：浸水シミュレーション手法（簡易モデル）【降雨+氾濫】
 - 境界条件：市内を流れる国・県管理河川は、降雨時に内水側への背水影響を発生させない条件での整備を行っているため、水位設定を行わない条件とした。
 - その他計算条件等：対象区域を約25mのメッシュに分割し、メッシュごとの浸水深を計算
3. 備考
- このシミュレーションの実施にあたっては、指定の前提となる降雨を超える規模の降雨、津波、高潮、洪水（河川の破壊または越水）による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても、浸水が発生する場合や、想定される水深が実際と異なる場合があります。